

ピンネ農業公社運営事業

問 就農者への住宅確保支援として増築費を助成することある。本町の定住促進事業とダブルで助成を受けることは可能か。

答 条件が合えば双方の助成を受けられる。ただし、町からのリフォーム助成は、他からの助成額を差し引いた経費で算定する。

地域おこし協力隊活動事業

問 農産物直売所を行うというが、具体的な取り組みは。

答 農作業の指導を受けている農家の敷地内や、イベント等での販売を計画している。

畜産振興協議会活動支援事業

問 牛を新十津川町ブランドとして、知名度アップを図れないか。

答 ふるさとまつりで販売されている牛肉は、特別の流通経路での提供。流通の点で、常に町内での販売、加工等は難しい。

基幹水利施設管理事業

問 ダム周辺は自由に出入りができる状況にあり、ダム湖の汚染が心配だ。ゲートや施設の状態は。

答 ゲートを設けて閉じている。チェーンをかけている箇所もあるが切られる状況にあつて、なかなか規制が難しい現状である。

地域温暖化対策のための排出削減・吸収量認証取得事業

問 事業の具体的な内容は。

答 適切な間伐により木を太く育て、二酸化炭素の吸収量を増やした分をクレジット化し、他の森林整備に活用。環境保全に対するPRにもつながる。

木質バイオマスボイラー導入検討事業

問 グリーンパーク、温水プール、スポーツセンターへの供給方法は。熱源は、売るのが、無料提供か。

答 1か所のボイラーから各施設に供給する。熱源の8割はグリーンパークが消費するが、町が負担している加温経費と比較し、双方のメリットを踏まえて導入検討する。コスト削減効果は、3施設で年間約700万円との試算。

問 3施設の他に、サンヒルズサライは検討されたのか。

答 熱源を送る管を道路の下を通すことや、管が相当長くなることから、設置費や維持管理費の点から見送った。

町有林保育管理事業

問 「創造の森」で、日本ハムファイターズと植樹する木は、野球のバットに使う樹種を植えては。

答 バットの素材の一つであるヤチダモの植樹を考えている。

有害鳥獣駆除対策事業

問 隣接する浦臼町、雨竜町と連携して、駆除対策をする動きは。

答 鹿の捕獲研修は雨竜町、浦臼町と連携して行っているが、それぞれの捕獲体制に違いがあり、共同での駆除対策にはつながっていない。

企業振興促進事業

問 企業誘致の取組みについての考え方は。

答 企業に向いての誘致活動は行っていないが、町のPRと併せて様々な形で誘致活動を行っている。

地元消費拡大事業

問 スタンプラリーの予算が毎年同額。消費拡大の工夫はないのか。

答 スタンプラリー抽選会は一定の効果が見られており、予算額は商工会と協議をして決定している。

観光振興について

問 「ゆめのむら構想」はどつなつたのか。町はどう関わるのか。

答 現状では、企業振興促進条例等の現行制度における支援が想定される。今後は、観光振興計画の基本方針に掲げている「観光情報発信力の強化」を推進する上で必要が生じれば、協議や検討をしていく。

道路維持管理事業

問 雨水桝や側溝の汚泥吸引や高圧洗浄車などを使った清掃は30年度事業の中で行われるのか。

答 雨水桝の洗浄は5年に1回の割合で方面別に行っている。30年度は橋本方面の実施を予定。

問 町が管理する道路や付帯施設の故障や不具合を、住民が緊急的に修理した場合、町に届け出る際に必要なものは。

答 届出に関して決まった様式等はない。緊急的な修繕が必要な場合は町が対応するので連絡をいただきたい。

都市整備推進事務

問 高齢者などが暮らしやすい都市整備の一環として、融雪装置への助成支援が必要なのではないか。